

## ○これからの目標

衆議院の選挙。私は、残念ながら選挙区での当選は叶いませんでしたが、比例区で当選し国会に戻ることが出来ました。感謝で一杯です。

選挙結果をうけて、立憲民主党は、新しい代表に泉健太さんを、幹事長には西村智奈美さんが就任し、再出発しました。政策提案型で行こう、共産党との協力のあり方は見直していこうという方向に、賛成です。執行部には、党内にいる様々な人材を適所に登用し、全員野球で様々な課題に取り組んでほしいと思います。

**【憲法議論】**憲法審査会の基本は、論憲(話し合いで合意点を探る)です。立憲民主党としても議論は進めるべきだと考えています。具体的には、まずは国民投票法。コマーシャル規制とネット規制を盛り込み、フェアな環境で国民に判断を仰ぐための改正案をまとめることです。また、憲法のどの条項を話し合っていくのか、憲法審では、一項目ずつ、全会派一致で合意を得ていくことが必要です。各党各会派合意の鍵は、全会派が一致している項目から議論を始めていくこと。憲法裁判所や人権委員会の設置、新しい環境権や地方分権などから始めようと提案しています。党の憲法調査会長として、党内の憲法議論も活発に行い、党としての憲法観をしっかりとまとめていきたいと思っています。

**【経済財政】**分配の具体論と、財政規律を取り戻すこと、そしてグローバル経済の中での日本企業の成長活力を作り出す戦略を作っていくことです。政府の議論は目先の話で終わっています。景気対策の一時的なカンフル剤であるべき金融緩和が、恒常的な政策となってしまう、元に戻せなくなっています。この政策破綻を正常な形に戻すためのソフトランディング戦略が必要です。同時に、社会構造の変化を念頭において、中長期的な、構造変革を目指す経済財政政策を目指すべきです。

**【外交安全保障】**現実的という議論があります。問題は、中国の脅威や北朝鮮の核やミサイルは、アメリカの立場から、アメリカの世界観に基づいて説明されてしまっているのではないかと、ということです。日本としての世界観と日本の立場を説明する人が、残念なことにもあまりにも少ないように思います。

超大国に挟まれていても、たくましく且つ、ピカッと光る価値観で生きる日本でありたいと思います。

**【人への投資】**教育や科学技術への投資が必要だと、政府も気がついてきたようです。目先の目立つ話、結果をすぐに出しやすい話を優先し、子ども達の教育や基礎的研究など、時間のかかる話、結果の見えにくい話には注力してこなかったことが、結果的に日本の国力を弱くしてきたのではないのでしょうか。子育てや教育への投資の成果が出るまでには時間がかかりますが、もう一度原点に戻って、人を育てることや、技術開発の基礎に投資をしていくことを目指します。

その他、地球環境(エネルギー)、持続可能な社会(SDGs)など、未来にむけて大事な課題は山積しています。立憲民主党が国民の期待に応え、骨太に政策提案をしていくためにも、ここでしっかり頑張ります。

## ○多様性へ、ジェンダーを乗り越える

今回の選挙では、衆議院の女性比率が下がり9.7%になってしまいました。女性が政治にも積極的に参画していくことが大事ということが、どこまで人々に優先課題として認識されているかという、まだまだだという結論なのでしょう。政府目標や法律で30%以上などと決めて、動かしていくことも必要ですが、もっと草の根的な身近な運動体を作れないか模索をしていきたいと思っています。

例えば、「女性議会」を開催する運動。メンバーを公募して、模擬議会を開く。また、「議員にしたい10人の女性」を選ぶ運動。選ばれた女性を候補者として応援していけるグループ作り。女性のための政治塾や政治セミナーなどを、開きたいと思っています。

多様性の第一歩、まずはジェンダーという課題、これからも頑張っていきます。

## ○地域の課題を一緒に解決しませんか

地域の課題、中川の政治課題、暮らしの中で疑問に思っていること、ここがこうなればいいのに、と思っていること、中川と一緒に解決しませんか。

立憲民主党の公報活動にご協力いただける方も募集しています。ご連絡ください。